

日英文化季節 Japan-UK Season of Culture 2019-20

日英文化季節 2019-20 とは？

今年 2019 年から 2020 年にかけて、「日英文化季節 (Japan-UK Season of Culture) 2019-20」として、2019 年ラグビー・ワールドカップ日本大会と 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を橋渡しする形で、英国において「日本文化季節」、日本において「英国文化季節」が開催されます。2017 年 8 月にメイ首相が訪日の際、安倍首相とメイ首相との間で合意されたものです。

「英国における日本文化季節」では、文化・芸術分野の交流、医療・科学技術・産業分野等におけるイノベーションや先端技術まで、日本の多面的な魅力を伝え、また地域や草の根でこれまで行われてきた手作りの活動を更に促進し、長期的に両国間に残るレガシーを創ることを目指しています。

文化・芸術分野の交流やイノベーション、先端技術の紹介においては、昨年 6 月、ロンドンのハイ・ストリート・ケンジントンにオープンしたジャパン・ハウス ロンドンでも様々なイベントやセミナー、展示会がおこなわれる予定です。

【昨年 6 月にオープンしたジャパン・ハウス ロンドン】



英国における「日本文化季節」

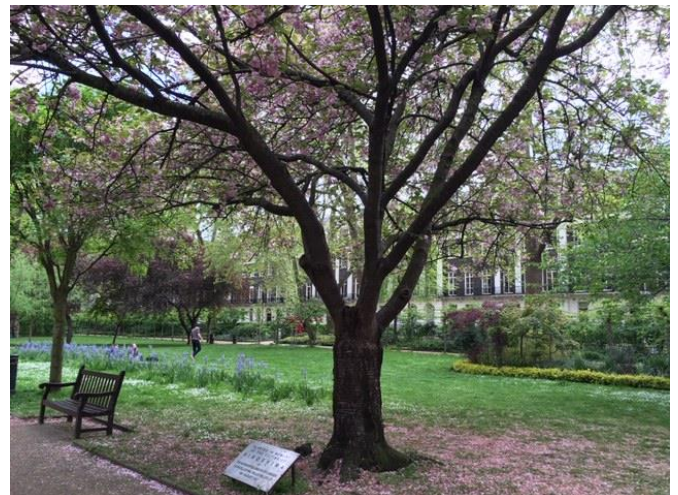
イベントは、「芸術・デザイン」、「劇・音楽」、「映画」、「学術・科学」、「ビジネス」、「スポーツ」など多岐に渡り、1 月の「芸術・デザイン」関連では 6 つのイベントが開催されます。

【英国における 1 月の「芸術・デザイン」イベント】

イベント	期間	場所
Display: The Geometrist by Tomoko AZUMI	1月10日まで	ジャパン・ハウス ロンドン
New Year Display	1月10日まで	ジャパン・ハウス ロンドン
Japan in Landscape- Watercolour Paintings exhibition by Matthew Phinn	1月11日～29日	スウェイ・ギャラリー ロンドン
Artist Talk: Mari Katayama	1月24日	ロイヤル・ソサイエティ・オブ・アーツ
Van Gogh & Japan: The Provence year by Martin Bailey	1月30日	アジア・ハウス
EXHIBITION: The inkblot looked like me- by Susumu Matsuura	1月30日～2月28日	ダイワ・ファウンデーション・ジャパン・ハウス

民間の交流事業として、1996 年に設立された、英国に居住する日本人の互助会「英国日本人会」が、1000 本の桜を英国に寄贈する計画を進めています。メイ首相は、「日英友好の象徴として、英国に桜の木を植樹するという英国日本人会の提案を歓迎する」との声明を発表しています。

【1967 年 8 月、広島原爆犠牲者へロンドン・カムデン区長より寄贈された桜 (ロンドン・タヴィストック広場)】



大英博物館でも日本イベントが開催予定

大英博物館では、日本漫画の展覧会「Manga マンガ」を、2019年5月23日から8月26日まで開催します。同展は、「日英文化年間 2019-20」の一環として、鳥獣戯画や北斎漫画にまで遡り、漫画の歴史を紐解きつつ、漫画の魅力や、アニメやコスプレへの影響など、幅広い内容で紹介する予定とのこと。

また、同館では、2019年10月3日から11月24日まで、特別展「奈良～信仰と再興」（仮称）が開催される予定です。法隆寺の国宝「銅造観音菩薩立像」（夢違観音）や東大寺の国宝「誕生釈迦仏立像及び灌仏盤」など造形作品20点前後が展示され、奈良の造形文化の神髄がロンドンで紹介されることとなります。

日本における「英国文化年間」

日本における「英国文化年間」では、今年9月から東京、愛知、兵庫の3カ所で、マネやセザンヌらの傑作を所蔵するロンドンのコートールド美術館の展覧会が、順次開かれる予定です。

【マネの大作「フォーリー＝ベルジェールのバー」(1882年)】



東京オリンピック・パラリンピックの開催期間中には、ナショナル・ギャラリーが所蔵するゴッホの「ひまわり」などの名画を日本で展示することも決まっています。

ビジネスにおける日英連携

ビジネスにおいても日英の関係は、特に医療・科学技術・産業分野等におけるイノベーションや先端技術での相互連携が進められています。

小池都知事は、昨年10月にロンドン大学にて講演をおこない、「環境・金融先進都市である「スマートシティ」、安心・安全な首都「セーフシティ」、誰もが生き生き生活し、活躍できるまち「ダイバーシティ」を東京の未来像として語っており、英国から日本への企業誘致を働きかけました。

【ロンドン大学シティ校で講演する小池都知事】



また、1月10日に、安倍首相はロンドンでメイ英首相と会談し、英国がEU離脱により日EU経済連携協定（EPA）から外れることから、2国間協定締結も視野に新たな経済連携の構築に取り組む方針で一致しました。会談後、両首脳は「次の10年を見据え、戦略的パートナーシップを一層深化させる」とうたった共同声明を発表しました。

日本と英国の関係が、「日英文化年間」でのさまざまな文化的芸術的イベントや経済連携によってさらに強化されることが期待されています。

以上

本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客さま自身でご判断くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。